

幼児期で身に付けたい生活習慣

宜野湾幼稚園では、「幼児期で、基本的な生活の習慣を正しく身に付けて欲しい」と考えています。以下のような事が、幼児期に身に付けるといいなと思っている事項ですが、幼稚園と家庭、連携を図りながら、子供たちに教えていけたらいいなと考えています。

- 1・使った物を片付ける・整理整頓
- 2・名札をつける、はずす
- 3・ひもを結ぶ（かた結び）、ほどく
- 4・はしを正しく持つ・使う
- 5・はさみを使う
- 6・ほうきではく
- 7・ぞうきん（ふきん）をしぼる。拭く
- 8・顔を洗う
- 9・えんぴつを正しく持つ
- 10・ちょうちょ結びができる



「使った物を片付ける・整理整頓」というのは、簡単には身につかないことのひとつです。しかし、片付けることによって、すっきりした気持ちになる、物事に見通しを持ち、整理していくことが上手になる、社会性が育つ等々、将来に必要なことがいっぱい隠されています。幼稚園でも、片付けの表示、片付け場所の確認、片付け忘れの子には、声をかける等、一年を通し指導していきたいと思っています。



名札は、小学校に入学してもあり、自分でつけたり、外したりする動作が日常的に要求されます。自分の胸に名札をつける操作は、両手と目との典型的な協応操作（二つの運動を連結して行う動作）で、力の加減や方向など微妙な感覚が必要となり、割り合いむずかしい動作のひとつです。宜野湾幼稚園の子も、ほとんどの子が出来つつあり、出来ない子へも、教師が手伝いながら、少しずつ自分でできる部分を任せているところです。

服に穴が空いてしまうのが、気になると思いますが、ご理解ください。

お願い



3番の「ひもを結ぶ、ほどく」。

色水遊びでビニール袋を結んだり、たまったゴミの袋を結んでもらったりと遊びや生活の中で、「結ぶ、ほどく」を経験していますが、より多く「結ぶ・ほどく」機会を、持たせたいと考えています。そこで、**弁当を大きなハンカチに包んで持たせて欲しい**と思います。週に2回ですが、少しずつ結び、ほどけるように指導していきます。お家でも練習していただくと助かります。



4番「はしを正しく持つ・使う」

子供たちに生活技術を教えるうえで、大切なことは他にも共通して言えることですが、最初から正しい持ち方・使い方を教えていくことです。正しい箸さばきは、一度に教え込もうとしてもなかなか身に付きません。少しずつでも、**毎日根気強く教えていくことが大切です。その際、「手を添えて指の位置を正しくする」**ことをお願いします。メニューで、異なってきますが、弁当の際に「箸」を持たせてください。

① ほうきで掃く

② ぞうきんを絞る

③ 箸を持つ・使う

④ えんぴつを持つ

1. 正しい鉛筆の持ち方（右きき）
力を入れず、そっと押さえる



親指と人差し指と
中指で鉛筆を持つ
人さし指はそっと、
押さえておだけ

2 鉛筆が指に触れるポイント

3. 箸と鉛筆の持ち方は共通している

